

**臨時災害放送局の開設・運用及びタイムシェアリング運用についてのアンケート**

ご回答いただいた内容は、臨時災害放送局(以下、「臨災局」という)のタイムシェアリング運用に関するマニュアル作成時の参考にさせていただきます。

つきましては、臨災局の開設・運用及びタイムシェアリング運用に関して、次頁以降のアンケートにご協力をいただきたく、**10月12日(水)**までに、Eメール又はFAXでご回答いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

●回答提出先

株式会社NHKテクノロジーズ  
 ファシリティ技術本部 公共システム技術部  
 Eメール: NTfm\_bousai@nhk-tech.co.jp  
 FAX: 03-5456-4743

●質問・問合せ先

担当: 甲斐、小田  
 TEL: 03-5456-4763  
 Eメール: NTfm\_bousai@nhk-tech.co.jp

自治体名	
部署名	
ご担当者名	
TEL	
e-mail	

※記載いただいた個人情報は、アンケートのご回答内容の確認の際に利用させていただき、その他の目的では利用いたしません。

**【臨災局の開設・運用に関して】**

**Q 1—1. 臨災局開設時に最も優先する事項**

臨災局を開設する際に、最も優先したい事項について順位をつけてお答えください。

順位	項目
	開局・運用開始までのスピード感
	放送カバーエリア
	臨災局運用に関して住民・受信者への周知
	音質
	その他

**Q 1—2. 臨災局開設する際の近隣自治体の動向・連携**

臨災局を開設する際に、近隣自治体との動向や連携について該当するものを○印で選択してください。(動向と連携でそれぞれひとつずつ)

区分	該当	項目
動向	<input type="checkbox"/>	近隣自治体の臨災局開設動向を参考にする
	<input type="checkbox"/>	近隣自治体の臨災局開設動向はあまり意識しない
	<input type="checkbox"/>	近隣自治体の臨災局開設動向は意識しない
連携	<input type="checkbox"/>	近隣自治体に連絡をとり連携を考える
	<input type="checkbox"/>	近隣自治体に連絡はとるが連携はあまり意識しない
	<input type="checkbox"/>	近隣自治体との連携は、その時の状況による

**Q 1—3. 臨災局開設する判断条件**

臨災局開設する判断条件について、どの内容を想定されますか。該当するものを○印でひとつ選択してください。

選択	項目
<input type="checkbox"/>	大規模災害の発生が想定される場合
<input type="checkbox"/>	発災から復旧までの期間が長期になると想定される場合
<input type="checkbox"/>	災害・避難情報の提供が必要と想定される場合
<input type="checkbox"/>	その他

Q 1—4. 放送番組計画

臨災局を開設する際に、放送番組計画はどのように考えられていますか。該当するものを○印でひとつ選択してください。

選択	項目
	放送番組計画を予めマニュアル化して準備している
	放送番組計画は、臨災局開設手続きと並行して検討する
	放送番組計画は、その時の状況により検討する
	放送番組計画は、毎朝検討する
	その他（ ）

Q 1—5. 想定放送内容

想定される放送内容について、発災時から復旧時までの経過を想定し、該当する選択事項のうち優先される上位3項を選択してください。

発災からの時期	優先 1	優先 2	優先 3
a. 発災期・避難期 (発災直後から 72 時間程度)			
b. 避難期・復旧初期 (72 時間から 2 週間程度)			
c. 仮設住宅・避難帰宅期・復旧後期 (2 週以降)			

(選択事項)

1. 災害情報
2. 避難所情報
3. ライフライン情報
4. 行政対応情報
5. 支援物資の情報
6. 安否情報
7. 生活情報
8. 癒し・娯楽・音楽
9. その他

**Q 1—6. 想定放送時間（時間と時間変化）**

必要な情報提供時間で、1回の放送番組単位（情報提供単位）の最短時間について、災害発生からの変化毎に下表回答欄にご記入ください。（選択事項から選択回答）

発災からの時期	回答
a. 発災期・避難期 （発災直後から72時間程度）	
b. 避難期・復旧初期 （72時間から2週間程度）	
c. 仮設住宅・避難帰宅期・復旧後期 （2週以降）	

（選択事項）

1. 10分未満
2. 10分程度
3. 30分程度
4. 1時間程度
5. 2時間以上
6. 常時
7. 不明

**Q 1—7. 想定放送時間帯**

情報提供を行う放送時間帯で特に望ましい（希望する）ものを、災害発生からの変化毎に下表回答欄にご記入ください。（選択事項から選択回答（複数選択可））

発災からの時期	回答
a. 発災期・避難期 （発災直後から72時間程度）	
b. 避難期・復旧初期 （72時間から2週間程度）	
c. 仮設住宅・避難帰宅期・復旧後期 （2週以降）	

（選択事項）

1. 午前中（8:30-12:00）
2. 午後前半（12:00-15:00）
3. 午後後半（15:00-18:00）
4. 18時以降（24時まで）
5. 深夜
6. 不定期
7. 不明

Q1—8. 運用方法（オペレータ、録音繰り返し再生）

臨災局の運用方法について、想定（検討）されているもので該当するものを○印でひとつ選択してください。

選択	項目
	オペレータやアナウンサーは、予め決めている
	オペレータやアナウンサーは、その時の状況により検討する
	オペレータやアナウンサーは、コミュニティ放送など外部に協力を依頼する
	オペレータやアナウンサーは、当初職員で対応するが、長期になる場合は、その時の状況により検討する
	一度放送した内容は、情報が変わらないものなどは録音して繰り返し放送を想定している
	地域住民の参加型やボランティアの対応も想定している
	その他（ ）

【タイムシェアに関して】

Q2-1. タイムシェアについてのお考え

多くの自治体が臨災局を同じ周波数で同時運用した場合、混信が発生する場合も想定されますが、これを回避する方法として放送する時間（電波を発射する時間）をタイムシェアリングして運用する方法があります。

該当するものを○印でひとつ選択してください。

選択	項目
	混信を考えるとタイムシェアをすることは止むを得ない
	タイムシェアの運用について、イメージがし難い
	タイムシェアの運用は、ルールが明確にできないと対応が難しい
	緊急を要する自由に放送できる時間枠は確保しておきたい
	その他（ ）

Q2-2. タイムシェアの時間を優先したい事項

止むを得ずタイムシェアの運用が必要になる場合、優先したい事項について、該当するものを○印でひとつ選択してください。

選択	項目
	固定放送時間帯（8時とか正午とか17時とか）
	最小放送時間数（10分とか〇〇分とか）
	緊急を要する自由に放送できる時間枠
	その他（ ）

Q2-3. タイムシェア調整対応について

タイムシェアを行う際に、運用時間等について関係者と調整の連絡を行うこととなります。タイムシェアの調整対応に関して最も近いお考えを○印でひとつ選択してください。

選択	項目
	災害対応はあるものの本調整についての連絡対応は可能である。
	対応は可能であるが、災害の状況により調整の連絡対応が困難となる可能性がある。
	災害対応が優先されるため、本調整に係る連絡対応に対して、リソースを割くことはできないことが想定される。
	その他（ ）

Q2-4. タイムシェア調整方法

タイムシェアの調整方法について最も近いお考えを○印でひとつ選択してください。

選択	項目
	タイムスケジュールの雛形が事前に分かっているならば、自治体側は柔軟に対応できる（速やかな運用開始が重要という趣旨）
	関東総合通信局において、各自治体の希望を把握するとともに、その意向が最大限かなうようしっかり調整してほしい（その分、調整に時間がかかっても構わない）
	自治体間で適宜連絡を取り合うので、調整について任せてもらえば問題ない。その分早期に放送できるようにしたい。
	その他（ ）

Q2-5. タイムシェアの時間帯変更

臨災局の開設は、災害の規模等により開設・運用数に変化する場合が想定されます。

その場合に運用時間帯について、最も近いお考えを○印でひとつ選択してください。

選択	項目
	タイムシェアの時間枠は、一度定めたら、その後の時間帯変更は困難である（受信者周知に課題）。
	タイムシェアの運用時間について、当日の時間帯変更の対応についても、予め想定できる範囲であれば、柔軟に対応できる。
	タイムシェア運用、時間帯変更については、その手法についてマニュアルが整備されていれば対応可能である。
	タイムシェアの運用が必要になると想定される自治体間において、予め、協議・訓練が可能であり自治体間で調整できる。
	その他（ ）

Q2-6. タイムシェアの懸念事項

タイムシェアの運用が必要になる場合の懸念事項があれば、ご意見をお願いします。

（自由記述）

【住民（受信者）への周知に関して】

Q3—1. 臨災局の運用に関する住民周知方法

臨災局の運用に関する住民周知方法について、想定されているもので該当するものを○印でひとつ選択してください。

選択	項目
	平時から広報誌、ホームページ、SMS等で行っている
	臨災局運用について、運用開始時に防災行政無線、避難所、ホームページ、SMS等で予定としている
	周知方法は、今後検討することとしている
	地域住民の連絡体制のほか、口コミ、関係掲示板等
	その他（ ）

Q3—2. 放送時間枠が変更する場合に有効となる周知方法

臨災局の運用時間変更に関する住民周知方法について、想定されているもので該当するものを○印でひとつ選択してください。

選択	項目
	臨災局放送時間内で変更を放送で周知する
	防災行政無線、避難所、ホームページ、SMS等で周知する
	周知方法は、今後検討することとしている
	地域住民の連絡体制のほか、口コミ、関係掲示板等
	その他（ ）

Q3—3. 複数自治体が受信されてしまう場合の対処、配慮

他の複数自治体からの臨災局が受信される場合の住民周知方法について、想定されているもので該当するものを○印でひとつ選択してください。

選択	項目
	臨災局の運用で、放送番組の前後に必ず自治体名を示す運用を行うことで混乱を防止できる（自治体名、コールサイン等）
	自治体内で他の臨災局がどの程度受信されてしまうかわからないので、今は想定できない
	今後検討することとしている
	その他（ ）



**Q3—4. 住民周知で配慮すべき事項**

臨災局運用に関する住民周知で配慮すべき事項について、お気づきのことがあればご意見をお願いします。(自由記述)

**【タイムシェアマニュアル作成に関して】**

**Q4—1. タイムシェアのマニュアル作成に関して要望する事項**

今回、タイムシェアのマニュアル作成を計画しており、運用調整方法やタイムテーブル(モデル案)などを掲載することを予定していますが、その他マニュアルに記載してほしい事項などご要望があれば記載をお願いします。

(自由記述)

**【その他全体を通してご意見】**

**Q5. その他全体を通してご意見をお願いします。(自由記述)**